

お知らせ

■第5回特別展示のご案内

「昭和の復興Ⅰ～開戦七〇年、戦時下から立ち上がる～」

主催：秋田歴史文化伝承会
共催：秋田県立博物館・秋田県立図書館
期間：3月2日（金）～4月20日（金）
10:00～17:00
会場：特別閲覧室

戦中戦後の生活用品や当時の出版物を展示し、昭和の時代を振り返ります。



●授乳コーナー

2階のボランティアルーム内にあります。
ご利用の際は職員にお申し出ください。



●おむつ交換台・子ども用椅子

1～2階の身障者用トイレにあります。

秋田県では、子育て家庭が安心して出かけやすい環境づくりを進めるために、公共施設等に親子で利用できる設備を整える「こどものえき」設置事業を進めています。

県立図書館でも親子連れの方のための設備が用意してありますので、どうぞご利用ください。

■国立国会図書館の「歴史的音源」を当館で利用することができます

これまで国立国会図書館でのみ提供されていた歴史的音源が、当館でも利用可能となりました。2階閲覧室に設置している利用者用インターネットコーナーの「端末No.1」で聴できます。

※提供内容

落語、長唄、楽曲（ギター、琴、尺八等）、歌劇、浄瑠璃、浪花節、歌謡曲、講演、ジャズ等、約2万5千件

～歴史的音源とは～

1900年初頭から1950年頃までに国内で製造された初期のレコード（SP盤）及び原盤に収録された音楽・演説などの音源を、歴史的音盤アーカイブ推進協議会（HiRAC）がデジタル化したもので

秋田県立図書館広報



県立図書館だより

Vol. 74
平成24年
3月発行

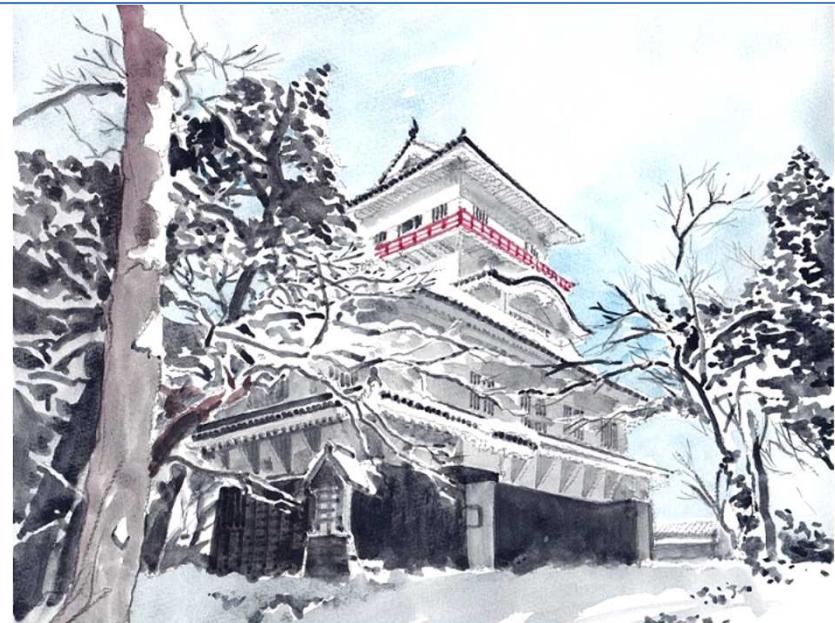


イラスト: Nozaki Fumitaka

■秋田発の地域資料デジタル化を目指して

最近、東日本大震災の影響からか地域アーカイブの機運が高まっている。デジタル化を進め、地域社会に公開することにより、資料を保存しながら、資料の新たな価値を創出し、地域の活性化に寄与することができるからだ。当社もいろいろな機関からデジタル化の仕様や取り進め方の相談を受けることが多くなってきた。しかしながら、地域資料デジタル化においては、地方での予算確保の難しさ及び技術的ノウハウの欠如があり資金や人材は大都市や国立機関等に集中しているのが現状である。この状態では、地方の貴重な資料が十分に活用されず失われることにも繋がりかねない。

昨年10月から、当社では、デジタル化のノウハウを有する秋田県立図書館と資料のデジタル化の最適化に関する共同研究をすすめている。県立図書館が所蔵する資料には、古書、絵図、掛け軸、図書等様々な形態やサイズがある。これらをデジタル化するにあたって、撮影方法、保存方法、画像フォーマット、提供方法等は資料に応じて違ってくるのである。

デジタル化は、組織としてデジタル化する目的を明確にすることは言うまでもないがさらに、1. 低コストであること、2. 長期保存にも耐えられること、3. 館内でノウハウが継承されること、の3点がポイントとなる。この中で、それぞれの機関や組織でのノウハウを継承するための人材育成は、特に重要な点であろう。

全国の地域アーカイブを活性化する秋田発の地域資料デジタル化の新基準策定を目指し、今後も前向きに取り組んでいきたいと思う。

株式会社みどり光学社 代表取締役 佐々木 宏也

県立図書館だより 74号

発行月 平成24年3月
編集発行 秋田県立図書館
住所 〒010-0952
秋田市山王新町14-31

TEL 018-866-8400
FAX 018-866-6200
自動応答電話 018-866-8406
パソコン用URL <http://www.apl.pref.akita.jp>
携帯用URL <http://ill.apl.pref.akita.jp/m/>
図書館全般についてE-mail apl@apl.pref.akita.jp
資料のお問い合わせE-mail jouhou@apl.pref.akita.jp



インターンシップで図書館を体験

1月23日～27日の5日間、秋田経理情報専門学校の1年生3名が、県立図書館でインターンシップを体験しました。カウンター業務や資料整理等、図書館のバックヤードを初めて体験した学生たちに、12月に新設したコーナーの取材と執筆を手伝ってもらいました。

館長と面談する学生たち

新コーナーの紹介

■teens'コーナー

平成23年12月よりYAコーナーを拡張し提供を開始しました。生きることに関する絵本や小説、文化部や運動部など部活動に関する本、大学進学についての案内書や赤本、職業に関する本など進路関係の本もあります。

■健康情報コーナー

一般向けの医学や健康に関する本が置かれています。生活習慣病など様々な病気に分かれているので、簡単に本を探すことが出来ます。その他にも、食事の献立や栄養・カロリーに関する本、ダイエット、妊娠・出産、現在問題になっている放射線に関する本など様々な分野の本があります。

■子育て情報コーナー

妊娠から出産後の子育てに関する本やパンフレット、親子で楽しめるCD等を提供しています。妊娠時の対応や子どものしつけ、子どもの名付けの本もあります。展示コーナーには秋田市在住のチャイルドコーチングアドバイザー若松亜紀さんのおすすめ本を置いています。場所は「えほんのへや」の隣なので、お子さんと来館された際も気軽に立ち寄ることができます。

■教科書コーナー

設置して5年目を迎えるコーナーです。県内の小学校、中学校、高等学校で使われている教科書が置かれており、教科ごとに分けられているので目当ての教科書を見つけやすくなっています。児童・生徒の読書支援のため、今年から新たに、国語の教科書で紹介された小説や随筆が追加されました。ぜひご利用ください。

**新しいサービスが増えた県立図書館を
ぜひご利用ください**

特別展示・セミナーを開催しました

■第3回特別展示 「伊藤博次展～私の愛した風景～」

共催:秋田県立近代美術館
期間:平成23年1月20日(土)
～平成24年1月31日(火)

この展示では、1950年以降の作品の中から、伊藤の愛した風景を中心に紹介し、延べ2,100人の入場者がありました。

■第4回特別展示 「第37回秋田県芸術選奨受賞記念展」

共催:秋田県県民文化政策課
期間:平成24年2月8日(水)
～2月27日(火)

第37回秋田県芸術選奨を記念し開催しました。芸術部門で受賞した小牟禮尊人氏のガラス作品「蜃気楼～m i r a g e～」、ふるさと文化賞を受賞した大嶋拓氏によりあきた文学資料館に寄託された劇作家青江舜二郎の関連資料等が展示され、貴重な芸術作品に接する機会を提供しました。

■秋田をまなぶ講座シリーズIII 第4回 「花を求めてー歌・写真・詩の競演ー」

共催:放送大学秋田学習センター
日時:平成23年1月10日(水)
会場:秋田県生涯学習センター
講師:佐々木久春・小松ひとみ・土崎宏人
ピアノ伴奏:千葉多恵子
参加者:100名

写真家の小松ひとみ氏をゲストに迎え、花をテーマとした写真と歌、文学を取り上げました。参加者は美しい写真と歌、文学作品のコラボレーションを楽しんでいました。

■平成23年度 秋田県図書館長会議の報告

日時:平成24年2月7日(火)
午後1時30分～4時
会場:秋田県立図書館 多目的ホール

県内公立図書館・公民館図書室の館(室)長等25名が集まり、秋田県図書館長会議が開催されました。会議では一般財団法人「カミーノあきた」の齊藤光子理事長から、地域の言い伝えを題材にした絵本『海から上がったおむすび地蔵さん』が県内図書館等に贈呈されました。

また、県企画振興部総合政策課から県内における読書活動の推進について説明があった後、湯沢市立湯沢図書館の佐藤館長から「閲覧サービスの改善について」、男鹿市立図書館の伊藤主席主査から「学校図書館との連携について」、秋田県立図書館の石井館長から「県立図書館の運営と課題について」実践に基づいた報告が行われました。出席した館長からも質問があり、これから図書館サービスについて熱心な協議が行われました。